

神奈川
シニア連合

あゆみ

第78号

横浜市中区山下町24-1

ワークピア横浜4F

神奈川シニア連合

発行責任者 東谷裕明

産別代表者会議の進め方等を決定

第6回五役会・第4回幹事会は、4月19日(金) 15時00分〜ワークピア横浜において開催され、退職者会産別代表者会議の進め方や施設見学会交流会などについて決定されました。

会議は、若林康夫幹事(全印刷)



挨拶する永井実行委員長(シニア連合会長)

の開会の挨拶で開始され、永井会長は「安倍政権になってから、主要産業の製造や検査方法、実質賃金、幸福度ランキングなど、世界の中で位置づけが低下。明後日は、統一自治体選挙後半戦の投票日であるが、最後まで戦い抜いて勝利し、引き続き7月の参議院選挙で安倍政権の退陣を勝ち取りたい」と挨拶。

続いて、東谷事務局長から2月18日(月)以降の活動報告が行われ承認された後、協議事項の①退職者会産別代表者会議(5月

作品募集

幸せ探し文化展

連合・IEC(教育文化協会)主催の『幸せ探し文化展』は、日頃から創作活動に励む働く仲間とその家族、退職者の作品を発表する場として開催されます。皆さん、作品を応募しましょう。

●募集期間

5月31日(金)が応募締切り

●応募作品

絵画・写真・書道・俳句・川柳

●応募方法

各産別退職者会への問い合わせ、又はWebサイト『幸せさがし文化展』で検索願います。

●その他

それぞれの応募に各賞が設定され、入賞者には最高10万円〜5千円の賞金や図書カードが贈呈されます。

22日)の進め方、②施設見学会交流会(6月13日)の実施、③2019年度視察研修旅行先について(10月15〜16日)、④日本退職者連合第23回定期総会議案に対する意見集約について、⑤第90回かながわ中央メーデー(4月27日)への参加者確認、⑥当面の日

程などについて提案された後、①視察研修旅行のあり方。②県労福協とシニア連合との関係などについて質問・提起があり、池田副会長及び東谷事務局長から質問と提起に対する見解が示され、提案どおり決定しました。

格差をなくし、平和で笑顔あふれる未来を！

第90回かながわ中央メーデーは、4月27日(土) 10時00分から横浜西区の臨海パークにおいて「すべての働く仲間の連帯で、格差をなくし、平和を守り、笑顔あふれる未来をつくろう！」のメーデースローガンのもとに、連合神奈川に結集する組合員6,700名(神奈川シニア連合40名)が参加し開催されました。メーデー当日は、早朝まで降



り続いた雨も上がり8時45分頃から組合旗がなびき陣取ったブルーシートに組合員が続々と集まる中、10時5分県立湘南高等学校吹奏楽部・ジャグリング部が軽快な演奏を開始。Dブロックのシニア連合の集合場所にも、タオルや食品を持参した会員が集結し、ボランティア基金へのカンパ、シニア連合のOB役員との思わぬ再会に「元気！」の第

一声と近況報告、現役の所への表敬訪問、円座での懇親などが行われました。

11時過ぎには小雨がぱらつく中で式典が開始され、主催者を代表し柏木会長が「今後も、働き方や社会保障制度など、未来に責任の持てる取り組みに全力を傾注」と挨拶。続いて黒岩県知事、林横浜市長、各政党代表の激励と連帯の挨拶を受けた後、メーデースローガンとメーデー宣言を採択し、最後に拳や傘を高々と挙げ「団結ガンバロウ」を三唱し会場を後にしました。

「かながわフードバンク」

善意が活かされる事業を展開

ボランティア研究委員会10名は、5月13日(月)14時00分から、横浜市金沢区富岡東の「フードバンクかながわ」において、研修と検品・仕分け作業を行いました。

今回の研修は、ボランティア研究委員会が神奈川シニア連合と連合神奈川Vネットが連携して

「フードバンクかながわ」にどのような協力が出来るかを検討する事業活動の把握と検品・仕分け作業を体験することを目的に行われました。

冒頭、鈴木ボランティア委員長の挨拶が行われた後「フードバンクかながわ」藤田 誠事務局長から「①昨年の今頃は、食



料品など何もなかったが、企業や行政などの協力団体が増加し、皆様の善意が活かされる事業活動となっている。②10月17日にフードバンクとしては、全国で初めて公益法人として認可を得た。③日本の食品ロスは、約646万t、国民一人1日当たり約139g(茶碗一杯のごはん量)であるが、全国約100ヶ所に集まる寄贈量は1万tに満たない等の講演を受けました。

その後、第90回メーデーで相模原と三浦地域連合に持参された寄贈品を賞味期限を確認し所定の棚に収めるとともに、コメの袋詰め作業を行いました。